
第14回

「いのちのつながり」 小作文作品集

令和6年度



主催：小笠榛原モラロジー事務所

後援：牧之原市・牧之原市教育委員会

公益財団法人モラロジー道德教育財団

「命のつながり」小作文

表彰式

令和7年3月9日（日）

10:00～11:30

牧之原市萩間コミュニティセンター
大集会室

《式次第》

開 会

主催者あいさつ

小笠榛原モラロジー事務所
代表世話人 前田 恭典

来賓あいさつ

牧之原市長 杉本 基久雄 様
牧之原市教育長 橋本 勝 様

審査報告 選考委員長

元牧之原小学校校長 植田 伸子 様

表 彰

表彰作品朗読

優秀賞受賞者 3名、特選受賞者 3名

講 話

静岡県南部モラロジー教育研究会
会長 長谷川 久男

閉 会



目次



目次	1
募集経過	2
主催者あいさつ	3
審査報告	4
審査結果	5
受賞作品		
優秀賞	6
特選	7
入選（5年生）	9
入選（6年生）	12
応募者名	16
応募者数	20



第14回「いのちのつながり」小作文募集要領・日程・経過

作文テーマ	親・いのち・感謝・思いやり・家族等
作文募集範囲	牧之原市立小学校 9校
作文募集対象	5・6年生
募集開始	令和6年10月15日（火）
募集締め切り	令和6年11月30日（土）
応募総数	両学年合わせて495編
作品選考員	小笠榛原モラロジー事務所担当者7名（1次・2次選考）
最終選考員	審査委員長 元牧之原小学校校長 植田伸子先生
作品選考	
1次選考	令和6年12月9日（月） 210編選出
2次選考	令和6年12月20日（金） 71編選出
最終選考	令和7年1月
各賞内訳	優秀賞 3編（市長賞、教育長賞、モラロジー道德教育財団賞） 特選 3編（静岡県モラロジー協議会長賞） 入選 20編（5年生10編、6年生10編） 佳作（上記26編以外の最終選考作品45編）
賞 品	優秀賞・特選・入選の方には賞状と副賞をお贈りします。 佳作の方は審査結果にお名前の掲載をさせていただきます。
表彰式	令和7年3月9日（日） 10時～11時30分 牧之原市萩間コミュニティセンター 大集会室

主催者挨拶

小笠榛原モラロジー事務所

代表世話人 前田 恭典

小笠榛原モラロジー事務所主催による、「いのちのつながり小作文コンクール」は、平成21年にスタートしまして、途中コロナ禍の中、中断はありましたが、牧之原市教育委員会様をはじめ、各学校の校長先生や担任の先生方のご協力のお陰で、今回で14回目を迎えることとなりました。

主催者を代表しまして、関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

本年も、牧之原市内9小学校の5,6年生に応募を呼びかけましたところ、495編もの小作文が寄せられました。

私自身も、1次選考、2次選考と応募作文の選考に携わりましたが、多くの作品から、助け合い、支えあう温かな家族の愛情や、友達への思いやり、また、先生に向けて感謝の言葉を綴った作品もあり、先行きの見えない将来への不安や心配を感じる日常生活の中で、希望やホッとする安心と温かさを感じることが出来、素敵な時間を過ごさせていただきました。開催名称は、小作文コンクールとなっており、各作品に賞がつけられてはいますが、子供たちが当たり前の日常を振り返り、自らを支えている大切な存在に目を向け、気がつき、感謝ができる機会を持つ、このこと自体が非常に価値のあることだと思えますし、本コンクールの開催意義もここにあります。

昨今の社会は大きな変貌を遂げており、特に個人の尊厳や権利のあり方が見直されて、良い方向へと変わりつつあると実感できますが、AIを始めとしてこれからどれほど時代が変わろうとも、社会の最小単位は家庭であり、温かで思いやりのある家庭の存在が、私たち一人ひとりと家族のより良い生き方と、地域社会の発展という三方よし社会の実現に欠かすことができない、重要な基盤であると考えています。

これからも、当事務所の「いのちのつながり小作文コンクール」が各学校の道徳教育の一助となり、明るく住みよいまちづくりに貢献することができれば、幸いに存じます。

今後とも、何卒ご協力いただけますようお願い申し上げます。

改めて、本コンクールの開催にご尽力いただきました関係者の皆様に、感謝申し上げます、主催者のあいさつに代えさせていただきます。ありがとうございました。

審査報告

選考委員長

元牧之原小学校校長

植田伸子先生

小笠原モラロジー事務所主催の「いのちのつながり」小作文コンクールは、今年で第14回を迎えました。牧之原市内小学校5、6年生の皆様から495点の応募がありました。一人一人の作品を丁寧に読ませていただき、第一次選考、第二次選考、最終選考を経て、本日の表彰式に至りました。

審査にあたり、この小作文コンクールの趣旨を踏まえ、文章の技巧的な部分以上に「自分事として課題を捉えているか」「相手を意識した説得力のある豊かな表現であるか」に重きをおいて審査いたしました。昨年度と比べて応募点数が100点程減少していたため、作品の内容が狭められたものになっていないかが怪訝材料でした。しかし、実際は、これまでと同様、その子ならではの、子供だからこそその発想の作文と出会うことができました。

本年度は、テーマである「親」「いのち」「感謝」「思いやり」「家族」の中で、「自分はどのテーマについて書こうか」「どのテーマだったら、今の自分の考えていることを主張できるか」とテーマを意識して書かれた作文が多かったのが特徴でした。テーマは、モラロジー道德教育財団様が、大切だと捉えている道德理念であると考えた時、子供たちが、この作文を書くにあたり、様々な思いを巡らしてくれたということが、この小作文コンクールの意義と考えます。賞には入らなかった作品の中にも、その子が考えた跡は残っています。このコンクールに応募した495人の子供たちには、その「跡」を大切に心の中に残しておいて欲しいと願っています。

入賞された作品は、その「跡」が読み手により強く伝わった作品と考えます。

テーマに対してありきたりの言葉でなく、自分流に砕いた言葉で追求出来ました。「自分のことを好きでありたいと思う」「すてきな名前をつけてくれた両親に感謝しながら幸せなことをたくさん感じていく」「この世界は、感謝でいっぱい」「命は平等」「命だけでなく思いもつながっている」「命に感謝している」等々、胸にささる言葉・文章が光ります。その子ならではの「いのち観」を捉えながらこの受賞作品集に目を通して頂けたらと思います。

この小作文コンクールが、子供たちの心の成長のために意味あるものとして今後続いていくことを願わずにはられません。

最後になりましたが、本事業に御賛同いただいた各小学校の校長先生、そして、子供たちの作文を指導して下さった担当・担任の先生方に心よりお礼申し上げます。

第14回牧之原市立小学校『いのちのつながり』小作文 コンクール審査結果

優秀賞

牧之原市長賞	やべ 矢部	ひまり 向葵	細江小6年2組 「感謝」
牧之原市教育長賞	そね 曽根	ちさと 千聖	牧之原小6年1組 「両親」
モラロジー道德教育財団賞	まみや 間宮	たろう 太郎	川崎小6年1組 「感謝」

特選

静岡県モラロジー協議会長賞	さくらい 櫻井	なち 那茅	地頭方小5年1組 「親」
静岡県モラロジー協議会長賞	えんどう 遠藤	まお 真緒	菅山小5年1組 「いのち」
静岡県モラロジー協議会長賞	はすいけ 蓮池	ひより 日和	菅山小6年1組 「思いやり」

入選

※順不同

5年生

やぎ 八木	こころ 心結	相良	「思いやりの大切さ」
さいとう 齊藤	なおき 尚希	相良	「いのち」
くればやし 紅林	しゅんき 駿希	菅山	「感謝」
おおいし 大石	ゆうと 裕士	萩間	「萩小の家族ジェード」
すずき 鈴木	ひより 陽由	細江	「親」
ますだ 増田	りか 凜花	細江	「思いやり」
いけだ 池田	かなめ 叶夢	細江	「感謝」
かわぐち 川口	こお 航生	勝間田	「感謝」
やまもと 山本	ななせ 椰瀬	勝間田	「家族」
みなみたに 南谷	こと 胡都	坂部	「家族」

6年生

ななみ 名波	りんか 凜夏	相良	「感謝」
いわくら 岩倉	ゆい 由依	牧之原	「つながる命」
くればやし 紅林	あい 亜依	牧之原	「いのち」
やまうち 山内	あおと 蒼斗	牧之原	「命は未来へのバトン」
かわしま 川嶋	しりゅう 祉琉	川崎	「命」
くろき 黒木	ふうか 楓夏	細江	「思いやり」
マヤレ・ギベリ		細江	「家族」
まつした 松下	ゆいか 結香	勝間田	「感謝」
せき 関	いつき いつき	坂部	「いのち」
いしづ 石津	りょうのすけ 遼之助	坂部	「いのち」

佳作

※順不同

5年生

中村 優志	相良	村田 結歩	坂部
藤田 愛翔	相良	坂下 稜真	坂部
西尾 葵姫	相良	石神 玲士郎	坂部
永田 大翼	菅山		
今村 朝陽	菅山		
鈴掛 来蘭	菅山		
佐々木 涼音	地頭方		
浅井 ひまり	地頭方		
増田 春道	地頭方		
中山 愛琉	地頭方		
細野 結由	細江		
舟本 帆花	細江		
加藤 栞里	細江		
大石 結和	勝間田		

6年生

加藤 風花	相良	山内 ひかる	牧之原
出口 栞衣那	相良	大石 蒼也	川崎
原間 陸斗	相良	加藤 佑菜	川崎
増田 杏珠	相良	濱崎 心愛	川崎
松下 杏朱	相良	福世 白晴	川崎
角田 心空	相良	山口 紗和	川崎
鈴掛 美璃	相良	鈴木 逢太	細江
菅原 小暖	相良	伊藤 紗那	細江
永田 瑠那	菅山	カマン・まひす・ノーラン	細江
田中 楓	菅山	増田 絵莉	細江
モギ ユカリ	菅山	山本 祐里葉	勝間田
櫻井 遥斗	地頭方	泉地 羽妙	勝間田
増田 湊太	地頭方	吉田 朔花	坂部
永松 央丞	地頭方	須藤 悠木	坂部

優秀賞 牧之原市長賞

感謝

細江小学校 6年2組

やべ ひまり
矢部 向葵

私は、自分のことを好きでありたいと思います。
なぜなら、私のことをおなかを痛めて産んでくれたお母さん、私と一緒にあそんでくれた兄、私と一緒に買い物にいつてくれたお父さん、そして、私のことを育ててくれた「ありのまま」を認めてくれた私の家族みんなに感謝以上のことをしたいからです。

私は、将来絵描きになりたいと思っています。「自分がきれい」、「自分を好きになれない」人を自分の絵で力になりたいと思ったからです。

そして、これをきっかけに自分を好きになる人が増えるといいなと思いました。

「自分のことを好きでありたい」理由が、家族に感謝以上のことをしたいからだ、という向葵さん。家族以外の大勢の人たちのためになりたい、という志を高くもって将来の夢を語ることができました。「自分を好き」と思うことが、家族への最大の感謝につながるという主張が斬新でした。

優秀賞 牧之原市教育長賞

両親

牧之原小学校 6年1組

そね ちさと
曾根 千聖

私の両親に、私の名前の由来を聞いてみたときがありました。

聖という字は、幸せやいいこと、という意味があるそうです。

つまり、幸せなことが千個ありますように、という意味があるそうです。

こんなすてきな名前をつけてくれた両親に感謝しながら、私は幸せなことをたくさん感じていきます。

すてきな名前をご両親からいただきましたね。ご両親の思いを素直に受け止め、感謝し、(名前のように生きていきたい)と思える子に育ち、ご両親も嬉しいと思っているでしょう。作文を書くことで、ご両親への感謝の気持ちを表すことができてよかったですね。

優秀賞 モラロジー道徳教育財団賞

感謝

川崎小学校 6年1組
まみや たろう
間宮 太朗

ありがとう。学校 楽しい毎日をおくれて。
ありがとう。野球 自分を成長させてくれて。
ありがとう。地域の人 ボランティア活動をしてくれて。
ありがとう。お母さん ぼくを産んでくれて。
ありがとう。友達 いっしょに遊んでくれて。
ありがとう。ゲーム わくわくさせてくれて。
ありがとう。地球 すばらしい自然を見せてくれて。
この世界は、感謝でいっぱいです。

太朗さん自身の体験の中で得た「感謝」をまっすぐな言葉で表すことができました。その最初に「学校」をもってきたことは、学校生活がとても充実したものであることがうかがわれました。残り少ない小学校生活ですが、悔いなく楽しいものになることを祈っています。

特選 静岡県モラロジー協議会長賞

親

地頭方小学校 5年1組
さくらい なち
櫻井 那茅

私は、親がいるから、自分の今があると思いました。
私のお母さんは、わたしが、つらいとき、そばにいてくれて、ずっとはげましてくれます。本当にうれしかったです。
いつも家事をしてくれたり、話を聞いてくれたりして、つらい時1人だったら、ずっとおちこんでいたんだなと思い、本当に感謝しています。
わたしも、お母さんが、おちこんでいるときは、話を聞いたりしています。わたしは「あ、こうやって支えあっていけばいいな」と思いました。でも、つらいことがあっても、家族と支え合い、毎日楽しく、いっしょに生活できていることが、本当に幸せだと思ったので、これからも、この家族と過ごす時間が、ずっと続いてほしいと思いました。
わたしは、家族がいないと、生きていけないなと思いました。

いつも支えてくれているお母さんへの感謝の気持ちであふれています。お母さんの姿を見て、「家族とは、支え合っていくもの」ということを学び、自分もそうなりたいと思っているのですね。お母さんにとっても那茅さんは、かけがえのない存在だと思います。

特 選 静岡県モラロジー協議会長賞

いのち

菅山小学校 5年1組

えんどう まお
遠藤 真緒

みなさんは、命がなくなると、どうなると思いますか？
命がなくなると、親や友達など、たくさんの人々がかなしんでしまいます。たとえ知らない人でも、会ったこともない人でも、みんな命はびょうどうです。人々の命は、戦争、さつ人、じこなどで、たくさん命がへってきています。

みな命はびょうどうです。自分の命の大切さにみんな気づいていません。みなさんは「自分の命がなくなってしまうたら…」と考えたことはありますか？

私は、この作文を書くまではそんなことは考えたことはありませんでした。みなさんの自分の命の大切さを考えて、自分の命、他人の命を大切にしていきたいと思います。

「みんな命は平等です」という真緒さんの主張に感銘を受けました。「自分の命」だけでなく、「他人の命」を大切にしていけることが戦争や殺人等の悲しい出来事をなくすことにつながっていくのでしょうか。この作文を書くことで、こんなに立派な自分の主張を生み出すことができました。

特 選 静岡県モラロジー協議会長賞

思いやり

菅山小学校 6年1組

はすいけ ひより
蓮池 日和

私の友達は、やさしい人がたくさんいます。

思いやりをもっていると、友達を気づかい合うことができると思います。気づかいを大切にする事で友達が増えて楽しく遊べると思うので、私は、「気づかい」を大事にしています。

気づかいすぎて自分の意見を言えない事もあったりしたけれど、自分の意見をしっかり言って、やさしい子を私は、すごいと思います。

友達と、仲よくできることは「思いやり」を持ててるという事なんだなと改めて思いました。

「やさしさ」とは、一方通行の「気づかい」ではなく、互いに「思いやる」ことから生まれてくると日和さんは、この作文を書くことをきっかけに気付きました。「気付く」ということは、「自分の意見をしっかりもつ」ということです。日和さんも「すごい子」に近づいていると思います。

入選（5年生）

「思いやりの大切さ」

相良小学校5年2組
やぎ ころ
八木 心結

あなたは、思いやりを大切にすることがありますか？

思いやりとは、人の気持ちを考えることです。

もし、思いやりのない世界だったら、「いじめ」や「はんざい」が当たり前の世界だったと思います。

でも今、私たちが生きている世界は、「いじめ」や「はんざい」が当たり前ではないと思います。

その理由は、1人1人が思いやりをしているからです！！

みなさんも「思いやり」について、じっくり考えてみてください。

心結さんは、現状を嘆くのではなく「思いやり」があるから、「いじめや犯罪が当たり前ではない世界だ」と言っています。心結さんの周りには、思いやりにあふれているんですね。心結さんの名前のように、心と心が結ばれている人間関係がとても大切だと考えさせられました。

「いのち」

相良小学校5年2組
さいとう なおき
齊藤 尚希

まさなおおじさんへ

おじさんの好きなものは何ですか、おじさんは私に似ていますか、生きていた中で、どんな事が1番楽しかったですか、聞きたいことがたくさんあります。

バアバから「弟だと、おもちゃをとっちゃうから妹がほしい」と言っていたよと聞きました。おじさんが病気で助からないって分かったとき、もう1人兄弟をとという話になってママが生まれたと聞きました。おじさんに妹ができていたんですよ。

私の名前は、おじさんの名前の1文字をもらって「尚希」という名前です。

これからもピアノや勉強をがんばっていきます。

おじさんも見守っててください。

「感謝」

菅山小学校5年1組
くれぼやし しゅんき
紅林 駿希

ぼくは、もっと感謝がふえてほしいです。なぜなら、感謝をされたら、人はうれしくなりもっとがんばりたいという気持ちになる言葉だからです。

「えんぴつをひろってもらった」などの小さなことでも感謝をしましょう。

その小さな感謝があつまることで人はとっても気持ちがよくなります。

感謝は、身近な人にはもちろん、他にも知らない人や、外国の人などのいろいろな人にして世界中の人たちをいい気持ちにしましょう。

ぼくも、もっと感謝をして人を笑顔にしたいです。

会ったことのないおじさんが、尚希さんの中に確実に生きているんですね。その人は存在しなくても「命のつながり」を尚希さんに伝えてきたおばあちゃんの思いを尚希さんは、しっかりと受け継ぐことができています。おじさんは、ずっと見守ってくれているはずですよ。

身近な人への小さな感謝が、やがて、世界の人々への感謝にまで広がっていき、それが、世界中の人々の笑顔につながっていく、と、駿希さんは、訴えています。世界の平和の第一歩は、身近な人々への感謝の心から始まるんですね。一人でも多くの人にこういう思いをもって欲しいと願いました。

シェードと萩小の皆さんとの温かで深いつながりが伝わりました。「ペット」ではなく、「家族」。人間同士、血縁同士でなくても、つながりが「家族」をつくってくれるのですね。ジェードもたくさんの家族をもって、幸せだと思います。

「親」

細江小学校 5年2組
すずき ひより
鈴木 陽由

ママとパパ、いつもありがとう。
よくおこらせてきげんわるくしちゃうけど、いっつもかんしゃしてるよ！

ママとパパのむすめとして、うまれたのは、ぜったいに幸運だとおもうよ！

ママとパパに、かいごが必要になったときは、私がそっせんして動くからね！

しょうらい私が、だれかとけっこんするってなってもおこらないでね！

ママみたいに、かじをらくらくとこなしちゃうおよめさんになりたいです！

今のお父さん・お母さんに対する思いを飾ることなく素直に作文に表すことができました。「介護が必要になった時」と、これから先のことまで思いを馳せることができました。この作文は、陽由さんのご両親にとっての最高のプレゼントだと思います。

経験したことの無いことをテレビを通して共感できたという凜花さんの感性に驚きました。他人のことを「そんなこと知ったことじゃない」と無関心でいる人が多い世の中になっていくことに赤信号を投げかけています。「思いやる」が「分かち合う」ことであることの自論は素晴らしいです。

「萩小の家族ジェード」

萩間小学校 5年1組
おおし ゆうと
大石 裕士

ぼくが通う萩間小には、登下校を見守ってくれる「ジェード」という犬がいます。ジェードは、運動会や入学式、卒業式にも来てくれます。

ジェードは、いつも萩間小の子を見守ってくれています。

萩間小のみんなは、ジェードから元気をもらっています。

そんなジェードは、萩間小にとって家族です。

ジェードは、おばあちゃん犬だけど、いつまでも元気でいてほしいです。

ジェーちゃんいつもありがとう。

「思いやり」

細江小学校 5年1組
ますだ りか
増田 凜花

ある日、テレビの番組で「命について考えよう」という話題を取り上げていました。

そこでは、流産などの経験をした人へのインタビュー、どれほど苦しいものなのかを紹介していて、私は経験したことがないはずなのに、なぜか経験した人の現状をすごく共感できたような感じがしました。

この、「人を思いやる気持ち」を、もっともっとたくさんの人に広め、経験をした人の気持ちを分かちあえる世の中にしていきたいです。

「感謝」

細江小学校 5年1組
いけだ かなめ
池田 叶夢

いつになっても家族は、自分のことにたくさんの思いやりをくれたと思っています。

ついたちの日、いとこと川で遊んでいたら「もう上がろう」といところが言うので、進んだらのちに足をひねり、流れの強いところに入り、あかい何かが見えて、祖父の血だと分かり、きずまみれでぼくを助けてくれた。

ありがとうございますと病気で亡くなった祖父にいくつもの感謝と、とても多くのやさしさを感じました。

あのうしろすがたを忘れないようにしたいです。

亡くなったおじいちゃんに助けてもらった命なので、これからも、叶夢さんの中に流れているおじいちゃんとながっている血が、命を守ってくれるでしょう。この作文が、おじいちゃんへの感謝の気持ちを伝えられることになっておじいちゃんも喜んでいと思います。

「感謝」

勝間田小学校 5年1組
かわぐち こお
川口 航生

僕が、幸せだと思うことは、

1. 大好きな和菓子を食べてお茶を飲む
2. いつも遊んでくれる友だちがいる
3. 「いってらっしゃい」「おかえり」を言ってくれる家族がいる
4. 温かいお風呂に入れる
5. ゲームをすること
6. 周りにいる人が話を聴いてくれる
7. 学校に行くこと
8. マンガを読むこと

他にもたくさんある。

これは、友だちや家族や周りに人がいるからできること、みんないつもありがとう。

「家族」

勝間田小学校 5年1組
やまもと ななせ
山本 椰瀬

ぼくのお母さんは、働きながら、ぼく、弟2人を育ててくれています。

ぼくには、お父さんがいません、でも近くにおじいちゃん、おばあちゃん、おじさんがいて、さびしくはありません。

だけど、おじいちゃんもおばあちゃんも病気をもっていて、いつも心配です。

せっかくの家族で、やさしくしてもらってるから、自分にできることがあればやりたい。

当たり前の日常から「幸せ」をたくさん見つけ出しました。航生さんの素晴らしいところは、それらの「幸せなこと」は、周りの人たちのお陰でできていると思ったところです。これからも、航生さんの「幸せ」は、どんどん増えていくでしょう。

お母さんに対して「育ててくれている」という感覚をもって生活していること自体が、感謝の気持ちにあふれています。お父さんがいなくても家族はおじいちゃんやおばあちゃんたちを含めて6人。やさしいいっぱいの家族に囲まれて、幸せですね。

胡都さんの家族は、支え合ったり教え合ったり協力し合ったりする素敵な家族ですね。家族にしてもらうことを当たり前と思わず、「すばらしい家族」と思っていることが、家族の絆を深めているのだと思います。

入選（6年生）

「感謝」

相良小学校6年2組
ななみ りんか
名波 凜夏

私は、家族・友だち・地いきの人たちが大好きです。

なぜなら、家族は災害が起こった時など、とても心強い存在になり、友だちは、つまらない時間を楽しい時間にかえてくれて、地いきの人たちは、すれちがったときは「こんにちは」とあいさつをしたり、学校から帰ってくる時「おかえりなさい」と言ってくれるなど、自分一人では味わえない気持ちや、体験をさせてくれるからです。

これからも、私は、この当たり前ではないことに感謝しながら、周りの人たちと関わっていきたいと思います。

凜夏さんの周りには、素敵な人がたくさん居るのですね。でも、それは、凜夏さんが「大好き」と思う心が、周りの人に伝わっているからだだと思います。これからも「行ったり来たりに関わり」を大切にして行こうとする決意のようなものを作文から感じ取りました。

当たり前のように存在する「自分」「家族」「友達」「周りにいる全ての人々」を、「命のつながり」という視点で見た時に、由依さんは、「奇跡」ととらえました。だから、出会えたことに感謝と喜びをもって、そして自分を大事に生きていきたいと考えました。心に響く主張です。

「家族」

坂部小学校5年1組
みなみたに こと
南谷 胡都

私は、家族がとってもすばらしいものだと思います。

私の家族は7人です。父、母、母の弟、姉、双子の弟の4人兄弟です。

私達の親が、出会っていなければ私はいないし、兄弟もいません。

私が、今家族といるのも、きせきのようなものです。みんなで支え合っていること、わからないことがあったら、教えてもらえること、それに、大変な事があったら、協力できる明るい家族です。

私は、この家族を大切にしたいと思います。これからも仲の良い、すてきな家族にしていきたいです。

そして、この家族から未来に命をつないでいきたいです。

「つながる命」

牧之原小学校6年1組
いわくら ゆい
岩倉 由依

私が生まれるためには、お父さんとお母さんがいなければなりません。

そのお父さんが生まれるためには、またお父さんとお母さんが必要です。

5世代で62人、10世代で2046人と続き、誰か1人がかけても存在しないし、かえがききません。友達にしても、私が100年生きたとしても、同じ時に生きられるのも偶然です。そう思うと人1人と出会うにも、友達が出来るのもきせきに近いことなのです。そのきせきを大切に思い、大事にするのかしないのかは、自分次第です。

たくさんの人につなげてもらった命は、たった1つしかありません。私は、私に関わるすべての人に出会えた感謝と喜びを忘れずに生きていきたいです。

そして私は、自分のことも大事にして生きていきます。そんな私を育ててくれた家族へ“いつもありがとう”

「いのち」

牧之原小学校6年1組
くればやし あい
紅林 亜依

私は、あたりまえのように、息をして生活することができています。

でも、それはなぜだろう？そう考えたとき、私の頭の中には、おばちゃんの家にある、ご先祖様たちの写真です。この人たちがいるから、私は生まれてきている。息をして、あたり前に生活ができているのだと思いました。

だから、みんながつないできた命のリレーの命のバトンを、私も、後世につなげていきたいです。

そして、私は、ヤモリをかっていますが、ヤモリは、交尾をしていなくても、メス1人で有精らんをうめるそうです。それをきいて、命のバトンをがんばってつなごうとしていてすごいと思いました。私も命のバトンを未来につないでいきたいです。

家に飾ってある御先祖様の写真は、「命のリレー」を私たちに教えてくれるものなのですね。今生きている亜依さんが、それに気付いてくれ、御先祖様もきっと嬉しく思っているでしょう。命のバトンをわたすために、ヤモリもがんばっていると生き物に視点を広げた点もすばらしいです。

「命は未来へのバトン」

牧之原小学校6年1組
やまうち あおと
山内 蒼斗

わたしたちは、生きている。「生きる」ってどんなことだと思いますか、見える、聞こえる、味わう、におい、ふれる、思う。

だれかのため、自分のため、いろいろあると思います。でも、ぼくは「生きるって未来へのバトン」だと思っています。ぼくは、お父さんとお母さんから生まれ、大切に育ててもらっています。

そして、お父さんやお母さんにもまた、お父さんとおかあさんがいて、とても大切に育ててもらったはずです。

それに、命だけでなく思いもつながっていると思うんです。

それは、みなさんもそうだと思います。1人じゃない、自分だけじゃないことをわすれないで周りの人たちも、自分も大切にして生きていきたいです。

「命」

川崎小学校6年1組
かわしま しりゅう
川嶋 祉琉

ぼくは、命にしました。なぜそれにしたかと言うと、命は、お母さん、お父さんが大切に育ててくれたし、お母さん、お父さんに感謝して生活しようと思いました。

なので、交通事故にもあわず元気に生活して、ぼくは、お母さん、お父さんに恩返しができるように、しょうらい、ぜったいプロ野球の選手になって恩返しします。

ぼくのことを、きたいしててください。

ぼくが、大人になるまで元気でいてください。いつまでも、いつまでもお母さん、お父さん、ぼくのことを見守っていてください。

ぼくは、これで命ということを学べてよかったです。命にとっても感謝しています。

「命のバトン」は、「命」だけでなく「思い」もつながっていて、その思いを大切にしながら生きていく、ということ自分の言葉で述べています。「大切に育ててもらっている」という実感が、蒼斗さんの主張につながっていると思います。

祉琉さんが、夢に向かって頑張れるのも大切に育ててくれたお父さん・お母さんのおかげであることを、この作文を書くことを通して確認できたのですね。ご両親の命も大切にしたい、という祉琉さんの思いも伝わってきました。夢の実現まで、まだまだ感謝は続きますね。

一気に書いた作文の中に、楓夏さんのどんな人にもやさしい心で接する、という心情があふれています。「思いやりの心」は、誰もがもっていて、「命」を大切にすることから生まれてくるものであることを温かい言葉で訴えることができました。

「家族」

細江小学校 6年 2組

マチャレ キンベリー

私は、6人家族です。2才になる弟と小学4年生の妹、そして生まれたばかりの赤ちゃんがいます。

小学4年生の妹は、としが近くいつも遊び、話し相手になってくれる大切な妹です。

2才になる弟は、まだ小さいけどたくさん笑わせてくれる大切な弟です。

生まれたばかりの赤ちゃんは、ママのおなかの中にいた時から成長を近くで感じることができ、生まれた時は言葉にあらわせないくらい幸せと、うれしさを感じられました。

この家族は、だれにもないきずなでむすばれています。

母さんのお腹にいる時から、赤ちゃんの「命」を感じ、「命」を赤ちゃんを通して目に見えるものとして実感できてきたからこそ、生まれてきてくれた時の嬉しさは格別だったと思います。マチャレさんは、「幸せ」とも言っています。家族が増える、ということは、命が増える、ということなのですね。

自分たちで野菜を育てているからこそ農家の人たちの苦勞が分かり、感謝の心を農家の人たちに向けてことができました。「もの」の背後にある「人々」を意識できるようになると、感謝の幅を広げることになります。学校で貴重な体験を積んでいますね。

「思いやり」

細江小学校 6年 1組

くるき ふうか
黒木 楓夏

何があっても、思いやりはわすれないで。思いやりをわすれると人間みんなおかしくなる。

いつもとちがうと、周りの思いやりがある人に、めいわくがかかる。

せつかく生きてるんだから。マナーは守ろう。1回2回失敗してもいいから。

なおそうとする気がある人は、結果思いやりはある。少しかくれてただけ。

かくしてたらもったいない。自分の命に気づいて。周りの命にも気づいて。

神様にめぐんでもらって命があるの。

生きてるんだから。思いやり、わすれない。

「感謝」

勝間田小学校 6年 1組

まつした ゆいか
松下 結香

私は、農業をやっている人や農家の人たちに感謝を伝えたいです。

私たちが、当たり前食べている野菜やお米は農家のみなさんが苦勞しながら作ってくれているからです。

私も学校で、トマトの苗を植えました。が肥料が多すぎたり、暑さ対策が難しかったりして、育てることができませんでした。

なので、農家の方たちの努力はすごいと思ったし、これから野菜やお米を食べる時には感謝の気持ちを忘れずに食べたいと思いました。

私も農家のみなさんのように、努力して、あきらめずに挑戦する気持ちをもちたいと思いました。

「いのち」

坂部小学校 6年1組

せき
関 いつき

みなさんは、命の危機を感じたことはありますか？

私は、事故にあいそうになったことがあります。でも、私は生きています。

それは、お母さんが助けてくれたからです。みなさんも、きっと命の危機を感じたことはあるでしょう。

もしかしたらその時に、亡くなっていたかもしれません。

でも、今生きているのは、きっと、だれかがあなたの人生を支えて、つなげてくれたからです。これは、「命のリレー」だと思います。あなたも、支えたいと思うような、大切な人がいる・できるかもしれません。

その時は、「命のバトン」をつなげていきましょう。

家族だけでなく「だれか」のお陰で「命のバトン」は、つながっている、といういつきさんならではの主張です。命の危機を救ってくれたお母さんへの感謝の文でもあると思います。「命のバトン」をつなげていくことは感謝のバトンでもあるのですね。

「いのち」

坂部小学校 6年1組

石津 遼之助

なぜ戦争が起きてしまったのか考えてみた。ぼくは、「欲」と「命」を軽くみてしまった人が、起してしまったのだと思う。

なぜなら、命を大切にしていたら、戦争なんて起こすはずがないからだ。「ほうしゅうのためなら人を殺す」そんな世界にはいけないと、歴史を学んだ時に思った。

「命がある」というのは、すばらしい。生きてると美しい風景も見れるし、何でも挑戦できる。

これからも、ぼくは、命を大切にしたい。

歴史を単なる「過去の出来事」ではなく、現代を生きる自分に移し替えて戦争について考えたことを作文に表すことができました。「戦争反対」を「命を大切に」という言葉に置き換えて世の中に訴えたい気持ちにさせてくれました。

『いのちのつながり』小作文応募者

(順不同)

相良小学校

5年2組

一木 歩丸
大野 笑果
小笠原 礼奈
神谷 ももは
川口 そう太
川原 れん
小塚 心遥
齊藤 尚希
佐々木 杏
鈴木 仁依菜
富田 美魅
友田 さくら
永野 大地
中村 優志
中村 凌久
名波 優芽
西尾 葵姫
西村 あまね
仁藤 綜亮
樋口 龍成
平田 喜子
平野 新太
藤田 愛翔
増田 笑理
増田 來桃
水野 夏帆
八木 心結
山本 翔太
ラモス アユミ

6年1組

相羽 茅乃
秋野 惺哉
今村 要
伊村 奏雲
植田 琉生
小野田 聖都

角田 心空
川嶋 翠々
川田 廉人
紅林 瑠衣
後藤 連次
進藤 莉音
直里 幸夏
鈴掛 美璃
鈴木 義士
田崎 楓真
牧 悠斗
増田 青玖
松栄 寧々
矢部 美空
吉田 蒼羽
渡辺 舜矢
渡辺 直み
加藤 凰花
秋野 巴那
竹嶋 心都

6年2組

赤堀 颯
秋野 真
秋野 莉心
新井 莉央奈
伊藤 星恋
大石 晴都
岡田 徠花
川嶋 康太郎
河原崎 遥音
桑原 みなみ
小原 美羽
四ノ宮 美優
菅原 小暖
寺澤 歩生
長野 心寧
名波 蒼太

西川 麻人
原間 陸斗
藤田 悠希
増田 愛凜
増田 杏珠
松下 琉奈
水野 瑛介
宮部 恭孟
良知 俊輝
富田 瑠有
名波 凜夏

6年3組

青島 昊汰
大石 陽遙
太田 結
大原 りな
小笠原 祐輔
川嶋 光音
紅林 縁
西藤 晃汰
佐々木 七海
澤田 睦太
四ノ宮 瑞葵
四ノ宮 颯汰
杉本 なる
鈴掛 里歩
竹中 慧
都築 亜友華
出口 栞衣那
戸塚 理人
西尾 風伽
畑 一眞
藤澤 叶夢偉
増田 心夏
増田 陽向
増本 さくら
増田 実礼

松下 杏朱
吉澤 美月
ルミオ サチコ

菅山小学校

5年1組

伊藤 來咲
今村 朝陽
遠藤 真緒
河村 太斗
紅林 駿希
紅林 俐玖
小杉 颯汰
匂坂 有俐花
鈴掛 來蘭
高塚 結菜
田平 喜一
戸塚 大翔
戸塚 蘭丸
中川 結愛
中島 結希
永田 大翼
西川 泰羅
蓮池 柑那
増田 奏仁
逸見 乃娃
水島 さくら
山崎 遥人
渡邊 蘭々

6年1組

池田 月歌
井出 采希
大幡 煌
川田 彩未
川田 芹奈
澤田 蓮斗

高塚 胡桃
高塚 弦
田中 楓
田中 桜和
永田 航太朗
永田 瑠那
名波 こほね
中村 帆花
名波 莉緒
蓮池 日和
増田 将太郎
茂木 ユカリ
芳野 裕也
ロマーニ ペテル
渡邊 羽菜
名波 華
伊藤 こころ

菖間小学校

5年1組

大石 裕士

地頭方小学校

5年1組

増田 桃佳
山崎 陽愛
増田 奏太
飛澤 一輝
永井 日茉莉
清水 颯介
田中 艶恋
増田 大惺
小塚 夏美
櫻井 那芽
佐々木 涼音
植田 涼菜
吉本 清華

浅井 ひまり
増田 春道
増田 陽葵
中山 愛琉
原口 いおり
山本 悠翔
山内 ゆな
大たき 優心
増田 悠真
原口 凜々
松下 心玲
増田 丈留
齋田 潤
ウィジェワルダナエ
サンダ
佐藤 翔琉
寺田 莉也
増田 恋菜

6年1組

植田 新
植田 竜ノ介
大窪 空翔
大澤 咲花
大橋 那都
大橋 瑞希
小野寺 海美
加藤 琉翔
河原崎 瑛斗
小塚 隆之介
齋田 梨鈴
櫻井 遥斗
櫻井 琉生
清水 夏輝
鈴木 亜依
鈴木 千介
鈴木 凜

曾根 帆
中嶋 優月
永松 央丞
西原 夢波
原口 珀人
樋口 優利
増田 湊太
増田 俐音
松井 奏風
村松 慶
山下 芽那
山本 流聖
西原 颯太

牧之原小学校

6年1組

荒畑 芽菜
飯田 未渚奈
伊藤 瑠花
岩倉 由依
太田 陽丸
河原崎 琉成
紅林 亜依
黒田 晃希
小杉山 創生
小林 由奈
鈴木 結羅
鈴木 望羽
曾根 千聖
高畑 桜愛
原崎 琉真
増田 真那人
松下 絢勇
松本 莉衣奈
三浦 瑛人
水野 太智
武藤 夢夏

村上 智紀
村松 朝
山内 蒼斗
山内 ひかる
和田 結衣

川崎小学校

6年1組

池田 逢
池田 奏音
池田 椛音
臼井 謙徒
枝村 彩里
大石 蒼也
大石 潤花
大石 たける
大川 巧真
太田 萌華
川嶋 祉琉
杉山 諒晟
関 伊織
関 香織
高木 夏葉
高橋 凰牙
田中 悠貴
中村 琉雅
増田 空
増田 彪牙
松井 綺友莉
間宮 太朗
村上 らむ
村松 奏弥
本杉 心花
山口 沙和
山崎 楓雅
渡邊 由亜
渡辺 柇矢

永田 彩夏
加藤 聖彩
枝村 実寿歩
中島 彩愛

吉場 日和

細江小学校

5年1組

池田 叶夢
石岡 結菜
石神 希咲
井鍋 伶南
イノ ガブリエリ

岩本 權
遠藤 莉子
大石 彩華
大石 望夢
加藤 晴喜
木村 洋士朗

櫻井 翔真
庄司 碧依
白石 真央
須藤 緑
田口 裕貴
中山 璃子
舟本 帆花
プリアンテ ガブリエレ

細田 悠叶
前田 友菜
増井 寛人
増田 凜花
松浦 成希
森川 想一郎
山村 風結

5年2組

新井 似愛
市川 美嶺
大石 萌心
大川 永吉
大澤 暖乃花

加藤 栞里
河野 心結
川村 航也

川村 麻衣
木村 凱翔
ゴメス ベアトリス

櫻井 大和
澤田 颯太
鈴木 陽由
田中 孤楠
橋本 紘

畑 直矢
細野 結由
ボリバルレ ズーン

増田 紘士
丸山 寧月
水野 望結
水野 美咲
向井 琢哉

モゾニアナ ルイザ

森本 ハウニ
山下 湮々愛
良知 空波
増田 テー

6年1組

渥美 友理
石橋 大知
大久保 竣平
大森 琉奈
香曾我部 実花

岸本 紫音
木村 英智
小出 蘭
小林 奏介
杉山 昊之進
鈴木 逢太

田原 稜大
ドミンゲス ユミ

中西 ララ

中村 花

藤井 遼仁

前田 メリー

増田 絵莉

松本 ゆいと

山口 鮎人

山中 永太

山村 流輝

山本 京吾

山本 咲季

吉中 慶晟

米山 悠空

黒木 楓夏

増田 智哉

大石 和奏

八木 花梨

6年2組

石黒 千暖

伊藤 温来

伊藤 紗那

稲葉 大知

榎田 湊

大石 朔汰

岡村 ありす

カーマン マティス
ノーラン

影山 琥珀

川口 陽大

川嶋 大毅

岸本 来音

木村 葵

桑田 美颯

杉山 葵泉

6年2組

石神 琉煌

内川 結衣

枝村 歩乃歌

大石 しん

小野田 敬介

片瀬 宏太

加藤 旦樹

加藤 佑菜

神谷 叶太

川村 桜

神崎 優

酒井 美佳

鈴木 心菜

鈴木 奈乃羽

鈴木 光之助

谷澤 心虎

譚 鼎

塚本 讚吾

永田 周也

中村 一珈

中山 健太郎

西田 遼太

濱崎 心愛

福世 白晴

藤浦 武

増田 雅

松島 暖斗

村田 優來

山口 唯愛

山下 楽生

加藤 翔琉

杉山 実愛華
高塚 暖人
中嶋 乃彩
西谷 将平
原 ジュリアナ
堀内 煌央
マチャレ キンベリー
矢部 向葵
山本 梁大

勝間田小学校

5年1組

赤堀 佑玖奈
山本 椰瀬
村松 甚多
川口 航生
大塚 遼
大石 結和
絹村 桜來
枝村 伶納
田中 瀬那
塚本 董
櫻井 冴凰
小原 莉央
村松 友希哉
木下 慶哉

6年1組

秋山 美緒
浅野 令旺
飯塚 奈央
飯塚 はる
泉地 コノミ
泉地 羽妙
小川 凧
加藤 岳
櫻井 創多郎

柴 颯希
杉本 宇美
武田 きみか
内藤 悠愛
縄巻 那月
西下 結
松下 結香
三輪 凌司
村松 綾依華
本杉 朱
本杉 脩羽
本杉 弥來
山本 遥
山本 星那
山本 祐里葉
山本 陽希
吉岡 一成

坂部小学校

5年1組

石神 玲士郎
小原 凜夏
齊藤 穂乃香
坂下 稜真
坂本 一紫
福代 源士
南谷 胡都
村田 結歩
良知 美紅
鈴木 亜由
大石 燿慈
石神 佑希斗
石神 佑一
櫻井 比呂
鈴木 結友
藤本 匠美
横井 愛莉

福代 ひなた
福世 悠翔

6年1組

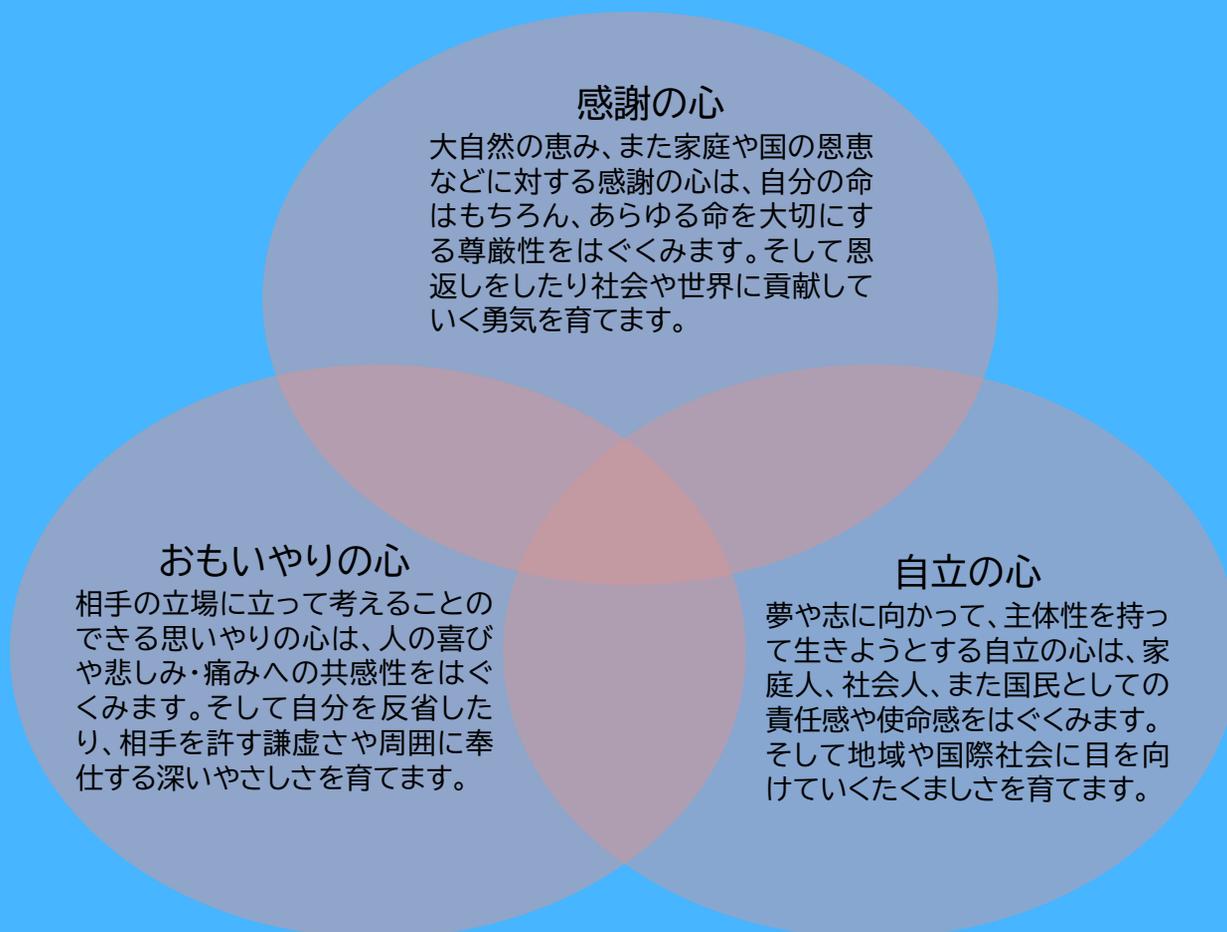
池ヶ谷 友維
石津 遼之助
市橋 結月
小関 彩友
小関 日陽
後藤 湊音
齊藤 遼
須藤 悠木
関 いつき
西谷 勇人
羽柴 成美
福代 夏芽
福代 悠人
山下 聡仁
横山 翔季
吉添 莉美
吉田 朔花
良知 愛優
良知 菜々花



小作文応募数

学校名	5年	6年	合計
相良小学校	29	81	110
菅山小学校	23	23	46
萩間小学校	1		1
地頭方小学校	30	30	60
牧之原小学校		26	26
川崎小学校		65	65
細江小学校	55	54	109
勝間田小学校	14	26	40
坂部小学校	19	19	38
合計	171	324	495

モラロジー教育では「3つの心」を育てます



●モラロジーとは●

モラロジー(Morality)は、「道徳」を表す(moral)と「学」を表すロジー(logy)からなる学問名です。日本はもとより世界の倫理道徳の研究をはじめ、人間、社会、自然のあらゆる領域を考察し、人間がよりよく生きるための指針を探求し提示することを目的とした総合人間学です。

モラロジーでは、一人ひとりの幸せと心豊かな社会の実現には、人間の品性を高める質の良い道徳の実行が必要と考えています。一般に、道徳は「人間の行為の範囲」と理解されているように、行いや形式面が強調されがちです。モラロジーでは、行いはもちろんですが、それ以上に行いのもととなる心のあり方(こころづかい・考え方)を重視しています。

第14回「いのちのつながり」小作文作品集

発行日 令和7年3月

発行 小笠原モラロジー事務所

〒421-0412 牧之原市坂部 620-1

TEL(0548)29-0515

URL: <https://www.ogasa-haibara-mc.jp/>

E-mail: morality12658@gmail.com